

【令和3年2月5日事故発生】

労働者が建設機械の作業範囲に立ち入り、建設機械と作業構台に挟まれる



●事故概要

・トラック運転手が土砂の積込作業中に、降車してクラムシエルの旋回範囲内に入り、建設機械本体と仮設構台の手すりに挟まれ、死亡した。

●事故原因

- ・建設機械の作業半径内に労働者が立ち入った。
- ・作業半径内への立入禁止措置または監視員の配置がされていなかった。

交通基盤部 土木工事 事故発生件数	事故分類	工事関係者(死亡)	工事関係者(傷害)	第三者(傷害)	第三者(物損)	工事事故合計	令和3年 2月末現在 (前年)
	件数	1件(1)	7件(3)	0件(0)	31件(22)	39件(26)	

裏面チェックリストを参考に各現場で再発防止に努めてください。

令和3年2月5日に「死亡事故」が発生しました！

【再発防止策チェックリスト】

○安全意識（事前準備）

内 容	チェック
土木工事共通仕様書第1編第1章第1節「1-1-26工事中の安全確保」に決められていることがこの現場で行われているか。	
ハザードマップや事故対策リストで危険を見える化し、現場内に掲示しているか。	
KY活動、朝礼・昼礼などで作業の危険性を常に確認しているか。	

○車両系建設機械の作業範囲への立入（作業当日）

内 容	チェック
車両系建設機械の作業範囲をカラーコーンやバーなどで明確に区分したか。	
車両系建設機械作業中は作業範囲を立入禁止とし、守られるか。	
または 誘導員を配置し、車両系建設機械の旋回範囲内の安全を確保したか。	
統一した作業手順及び合図・誘導の方法を決め、それに基づき作業が行われるか。	

○車両系建設機械の作業範囲立入原因の解消（作業当日）

内 容	チェック
車両系建設機械の作業範囲周辺に資材等を置いていないか。	
車両系建設機械の作業範囲周辺で他の作業を同時に行わないか。	
やむを得ず、人と建設機械の共同作業となる場合は、誘導員を指名し、配置したか。	
現場内のすべての元請け・下請作業員の作業内容・持ち場を見える化し共有したか。	
指揮系統を明確に決め、予定外の作業は、決められた者の指示・判断により、行われるか。	